

(一財)長崎県剣道連盟

広報誌 第14号

剣道だより (KENDO Nagasaki)



〈本送る底荷の冬至 南瓜かな(黒田杏子)・・・冬至(とうじ)の候〉

冬至とは、北半球において日の出から日の入りまでの時間がもっとも短い(=夜が長い)日のことです。冬至がいつかは天文学的に決まり、今年(令和2年)は12月21日です。南半球では同じ日が、もっとも昼の時間が長い日になります。なぜ夜が長くなるのでしょうか？ひとことで言うと、「地球の回転軸が傾いているから」です。

冬至の食べ物といえば「南瓜(かぼちゃ)」かぼちゃは、体内でビタミンAに変わるカロテンや、ビタミンB1、B2、C、E、食物繊維をたっぷり含んだ緑黄色野菜。新鮮な野菜が少なくなる時期、これからの冬を乗り切るためにも、冬至という節目の日にかぼちゃを味わって栄養をつけよう・・・という先人の知恵なのです。ただ、江戸時代の文献には「冬至にかぼちゃ」という内容の記述はなく、明治以降に生まれた比較的新しい習慣と考えられています。もう一つの冬至の風習が柚子湯(ゆずゆ)。この習慣は江戸時代からあったようです。「東都歳事記(とうとさいじき)」によると、「冬至 今日銭湯風呂屋にて柚湯を焚く」との記述があります。「冬至」を「湯治」にかけ、「柚子」を「融通が利く」(=体が丈夫)にかけて、お風呂屋さんが始めたとされています。江戸っ子ならではのしゃれたイベントですね。新型コロナウイルス感染拡大対策の中でも暦は粛々と進んでいきます。今年(令和2年)は新型コロナウイルス感染拡大対策で全国に非常事態宣言が発令され、不要・不急の外出など自粛が呼びかけられました。剣道の県内外の講習会、剣道大会、全剣連が主催する剣道大会や講習会なども中止となりました。コロナ渦の時期こそ体幹などの身体づくりや稽古の基礎基本を大事にして、本来の剣道の楽しみ方で過ごすのも良いのかもしれない。



写真：ポインセチア
花言葉：「思いやり」

新型コロナウイルス感染拡大対策の中でも暦は粛々と進んでいきます。今年(令和2年)は新型コロナウイルス感染拡大対策で全国に非常事態宣言が発令され、不要・不急の外出など自粛が呼びかけられました。剣道の県内外の講習会、剣道大会、全剣連が主催する剣道大会や講習会なども中止となりました。コロナ渦の時期こそ体幹などの身体づくりや稽古の基礎基本を大事にして、本来の剣道の楽しみ方で過ごすのも良いのかもしれない。

報告(1)・・・令和2年度長崎県高等学校新人剣道大会 (新人戦観戦記)

標記大会が令和2年11月7日(土)～8日(月)、諫早市立森山スポーツ交流館にて無観客試合、大会補助役員を含め、1年生・2年生のみの参加、試合は1日目女子個人戦・団体戦トーナメント戦、2日目男子個人戦・団体戦トーナメント戦で実施された。女子団体決勝は島原高校が西陵高校を3-1で下して3年連続12度目の勝利を飾った。個人4強を独占した島原は昨季からメンバー入りをしてきた生出を中心にメンバー5人中3人が粘る西陵高校を相手に地力を発揮した。男子団体は決勝では島原高校が昨年敗れた長崎南山高校を2-1で下して4年ぶり14度目の優勝を飾った。決勝戦では中堅の小山と副将の安田が気迫のこもった試合をした。0-0で出番が回ってきた小山はメンを決めてリードをし、安田がコテで先行すると時間終了間際にメンを決めて勝利を決定づけた。男子個人戦では島原高校対決となり、小山 颯が下田慎太郎を制し、優勝を飾った。全国トップレベルの島原高校は長崎南山高校とともに九州大会でも優勝をじゅうぶんに狙うことのできる実力のあるチームになっている。(高校剣道新人戦結果詳細は県連ホームページに掲載)

- 女子団体 優勝 島原高校 優勝(3年連続12度目) 女子個人優勝 生出琴華(島原) 2位井上心春(島原)**
準優勝 西陵高校 3位 西海学園高校・瓊浦高校 (団体3位まで個人ベスト8まで九州大会出場)
- 男子団体 優勝 島原高校 優勝(4年ぶり14度目) 男子個人優勝 小山 颯(島原) 2位下田慎太郎(島原)**
準優勝 長崎南山高校 3位 西陵高校・五島高校 (団体3位まで個人ベスト8まで九州大会出場)
- 女子個人 3位 永井 萌(島原) 福園楓音(島原) ベスト8 長谷川知(海星) 岩下桜子(瓊浦) 大久保未月(長崎東) 白石一花(長崎南)
- 男子個人 3位 安田祐也(島原) 平田悠生(長崎東) ベスト8 俵崎鉄平(西陵) 山開智博(西陵) 山中駿長(長崎南山) 中尾崇人(大村)



男子団体優勝(島原)

女子団体優勝(島原)

男子個人入賞者

女子個人入賞者

報告(2)・令和2年度長崎県剣道連盟春季居合道昇段審査及び講習会報告

標記審査会及び講習会が令和2年10月4日(日)長崎市立福田中学校体育館において秋季長崎県下居合道講習会および初段より五段までの昇段審査会が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のために春の講習会及び昇段審査会、県下居合道段別選手権大会が中止になる中での開催となりました。新型コロナウイルス感染対策ガイドラインに沿って、昇段審査及び講習会が実施されました。審査会を前に審査委員長の剣道教士八段片山倉則剣道理事より審査を受審するにあたっての挨拶がありました。審査員はシールド及びマスク着用、受審者はマスク着用での審査会となりました。

<昇段審査>

今回の昇段審査は午前10:00より初段から五段まで実施されました。全日本剣道連盟居合解説書に定める審判・審査上の着眼点をもとに厳選な審査が行われました。

審査結果は初段3名(100%)二段5名(100%)、三段1名(0%)、四段3名(100%)、五段5名(100%)、合計受審者17名合格16名合格率94.1%でした。審査会後に実技と学科合格者の発表が行なわれ、講評を剣道教士八段片山倉則剣道理事より、受審者全員に向けてありました。今回の昇段審査は居合道手帳の講習会特典が考慮され、居合道審査(初段~五段)筆記試験の一部免除が実施されました。また、三週間前に開催された中央講習会伝達代替講習会で指導されたことが確実に身につけていることが感じられました。

指定技 【初段~三段】一本目、前②二本目、後③四本目、柄当て④六本目、諸手突き⑤七本目、三方斬

指定技 【四段~五段】古流の技、②三本目、受け流③五本目、袈裟斬④九本目添手突、⑤十本目、四方斬



新型コロナウイルス感染拡大対策の審査会

居合道五段審査 古流の業(前、初発刀)

全日本剣道連盟居合解説書の説明を熱心にメモする受講者

<居合道講習会>

午後からの講習会は居合道教士七段高木志伸居合道部長より、全日本剣道連盟居合の説明及び午前中の昇段審査会での留意点や基礎基本を重点に説明と解説があり、その後、居合道教士七段平禮道居合道副部長より講習会についての概要説明がありました。受講生は段外から六段まで各段に別れ、七段の先生方が指導にあたりました。講習生はそれぞれが目的を持って先生方の指導を受講しました。講習会参加者は段外0名、初段4名、二段6名三段0名、四段4名、五段12名、六段5名、七段10名、合計35名が参加しました。

報告(3)・令和2年度剣道個人・団体の表彰

標記表彰について報告いたします。

1 全日本剣道連盟表彰

「少年剣道教育奨励賞」表彰

- | | | | |
|--------------------------|----------|-----|-------|
| (1) 島原修悠館(しまばらしゅうゆうかん) | 島原市剣道協会 | 代表者 | 友永 峰昭 |
| (2) 野母崎剣士会(のもぎきけんしかい) | 長崎市剣道協会 | 代表者 | 向井 秀樹 |
| (3) 剣和会(けんわかい) | 南島原市剣道協会 | 代表者 | 松尾 安博 |
| (4) 上荒川雄剣会(かみあらかわゆうけんかい) | 上五島剣道協会 | 代表者 | 小松 雅宗 |

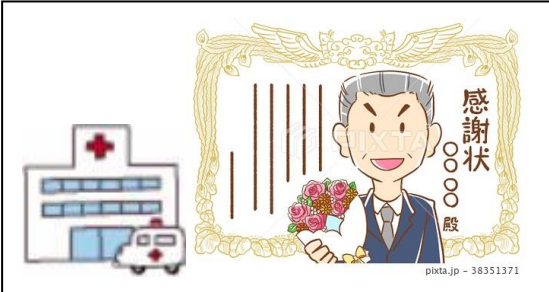
報告(4)・令和2年度中央審査 合格者(段位・称号)

令和2年度(2020)中央審査合格者名簿【称号】			剣道錬士	5月6日	京都
剣道教士 ※コロナ感染防止の為書類審査のみ			1 城戸 克典	諫早市	38(5月6日京都)
1 松島智子	県警	41(11月24日東京)	2 川下 陽介	県警	40(5月6日京都)
2 出田圭一郎	諫早市	43(11月24日東京)	3 山根 一洋	諫早市	41(5月6日京都)
3 伊藤 智廣	大村市	44(11月24日東京)	6 吉岡 健治	諫早市	46(5月6日京都)
4 寺崎 圭一郎	大村市	44(11月24日東京)	4 船津 博之	県警	55(5月6日京都)
5 今里 尚武	東彼	45(11月24日東京)	5 石橋 祐浩	学剣連	56(5月6日京都)
6 中野 尚志	学剣連	46(11月24日東京)	7 平田 剛	県警	59(5月6日京都)
7 山口 剣一	諫早市	47(11月24日東京)	8 廣島 誠一郎	学剣連	59(5月6日京都)
8 山下 修一郎	大村市	49(11月24日東京)	9 平野 宗雄	平戸市	61(5月6日京都)
9 開 健一	大村市	54(11月24日東京)	10 川上 靖之	佐世保市	47(11月24日東京)
10 石橋 祐浩	学剣連	56(11月24日東京)	11 小林 利之	島原市	51(11月24日東京)
11 松尾 満明	三菱	56(11月24日東京)	12 宮本 隆洋	大村市	53(11月24日東京)
12 金子 建夫	北松	67(11月24日東京)	令和2年度(2020)中央審査合格者名簿【段位】		
13 澁江 雄司	対馬市	67(11月24日東京)	剣道八段		
居合道教士			※一次合格(10月代替) 無し		
1 廣瀬 正祐	居合道部	45(11月24日東京)	※一次合格(11月) 石原一郎、藤原昌史		
			剣道七段		
			8月29日 福岡 古田 直人 対馬市 47		
			剣道六段		
			10月14日 兵庫 杉原 英治 佐世保 61(京都の代替)		
			11月15日 愛知 富永 達也 大村 54		

報告(5)・人命救助表彰

令和2年11月14日(土)剣道の指導中に倒れた男性を連携して救助して下さった5名の方へ、長崎県剣道連盟より感謝状を贈った。尚、同5名の方へは諫早市消防署からも感謝状が贈られている。

1) 沖升 正則様	(緑ヶ丘中学校剣道部 保護者)
2) 中江 駿介様	(西陵高校剣道部)
3) 佐々木 浩子様	(緑ヶ丘中学校剣道部 顧問)
4) 粟田 千栄様	(西陵高校剣道部 保護者)
5) 三田村 幸香様	(西陵高校剣道部 保護者)



煌めく剣士(NO2)・・・がんばる TODA DOJYO(黒髪少年剣道育成会)

佐世保市にある少年剣道の道場、黒髪少年剣道育成会にはパワフルな♥四兄兄弟が毎日、剣道で汗を流しています。長男の優人さんは中学3年生♪毎日、佐世保市から長崎市の長崎南山中学校に通う頑張り屋さん、長崎県内の個人戦・団体戦では常に上位入賞、長女の胡桃さんは中学1年生で佐世保市中総体でも優勝♪いつも切れのあるメンを炸裂、上位入賞のパワフル女の子。次男の直人さん小学5年生と三男の賢人さん小学3年生は二人とも剣道の筋が良く、将来が楽しみのチビっ子剣士。とても仲良く、ライバル心旺盛の羨ましいほどの剣道大好き煌めく剣士達です。



飯盛神社少年剣道大会(佐世保市)
個人優勝独占の戸田家の子供達
(黒髪少年剣道育成会)

遺稿(NO3)・・・「武士(もののふ)の精神」

剣道教士七段 島田明士先生(故人 長崎県剣道連盟名誉会長)

長崎県剣道連盟名誉会長が令和2年11月20日(金)に96歳にてお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。島田先生ご功績に対して長崎県剣道連盟では全日本剣道連盟より、顕彰状を頂戴し、御霊前へお供えさせて頂きました。ご生前の遺稿を掲載いたします。

「武士(もののふ)の精神」

※「剣報長崎」平成15年(2003年)1月 新年号 より



今、日本は経済の低迷、教育が迷走し社会は混沌としていますが、その中によろやく歴史と伝統に対する関心が高まりつつあるような動きが感じられてきています。

先般、教育基本法の見直しが審議され、中間報告が公表されました。その中に「伝統、文化の尊重、郷土や国を愛する心」などを基本理念に盛り込もうとしています。これは新しい理念を作る方向性が出たものと考えられます。

また最近、興味深い現象がみられます。それは戦争中、多くの日本人の心をとらえた吉川英治原作『宮本武蔵』が、今またよみがえってきています。漫画『バガボンド』は第15巻が出たばかり、発行部数2700万部突破という驚異的な人気を博しています。タイトルは漂泊者「漂流者」という意味ですが、絶えず旅を続けながら修行を重ねる武蔵の生きざまが人々の心をひきつけ、それが青少年に「武士(もののふ)の精神」を理解させ、教育に役立つものと期待しています。NHKで新年から大河ドラマ「宮本武蔵」が放映されますが、今年は宮本武蔵ブームが巻き起こり、日本国民に活気を吹き込み明るい社会になることを願っています。日本の歴史によって培われた武士道は、日本人の精神的郷愁として、そして行動哲学として時代の谷間で復活が叫ばれて、その価値の再発見が求められていることを強く感じています。武士道という言葉に、まったく無関心でありえない、それほど武士道はいろいろな形で日本人の心の深層部に深く根をおろしているものと思われま

す。こうした社会情勢の中で、当剣連は、平成5年4月に認可を受け、「社会的な格付け」をもつ組織として発足し、今年で10周年を迎えます、また、全国高等学校総合体育大会が当県で開催されます。当剣連として、その存在価値を高めるために一層の活躍が求められています。運営面でも総意を結集し、特に事務関係では先般12月に電算機(パソコン)を導入しました。これからOA化に本格的に取り組み、段位、称号の入力、登録、審査業務、各関係先との連携にその威力が発揮されることになるでしょう。

この節目の年を契機として、更に社会に貢献するために「高い水準の剣道」の育成と、「各層への剣道普及」を図り、活力ある剣道の実現を目指し、積極的に事業を展開してその実を挙げるよう努めていきたいと思っております。今年も剣道人としての自覚と謙虚さの中で、人間形成の道を一步一步進んで参りましょう。



訃報 島田明士先生(長崎市)、森敏男先生(佐世保市)、宮崎勝次先生(雲仙市)

- ※ 島田明士先生(長崎市) 剣道教士七段 (長崎県剣道連盟名誉会長) 令和2年11月20日ご逝去 96歳
- ※ 森 敏男先生(佐世保市) 居合道教士七段(元長崎県剣道連盟居合道部理事) 令和2年6月 8日ご逝去 96歳
- ※ 石橋 八郎先生(長崎市) 居合道教士七段(元長崎県剣道連盟理事) 令和2年6月 27日ご逝去 85歳
- ※ 宮崎勝次先生(雲仙市) 居合道教士七段(元長崎県剣道連盟居合道部理事) 令和2年8月 22日ご逝去 78歳